

経済協力シリーズ183

開発援助とバングラデシュ

佐藤 寛 編

開発援助とバングラデシュ

経済協力シリーズ第183号

開発援助とバングラデシュ

佐藤 寛 編

発 行

アジア経済研究所 東京都新宿区市谷本村町42 電(3353)4231(代)

1998年3月25日発行© 無断転載禁ず 印刷/製本・安信印刷

ISBN 4-258-09183-9 C 3033



ISBN4-258-09183-9 C3033

目 次

はじめに

第 I 部

バングラデシュにとっての援助

第 1 章 バングラデシュにおける援助の社会・

政治的意味——村山真弓… 5

はじめに…5

第 1 節 出発点：バングラデシュにとってなぜ援助が必要だったのか…7

1. 独立時の社会構造…7

2. パキスタンからの継続プロジェクトと債務分割問題…11

第 2 節 経過：なぜ援助依存から脱却できないのか＝援助は何をもたらしたのか…17

1. 援助の内容…17

2. 援助の受益者…19

むすびにかえて——将来：援助からの独立闘争…24

第 2 章 バングラデシュ経済と開発援助——長田満江…29

はじめに…29

第 1 節 独立以来の対バングラデシュ開発協力…30

1. 開発協力資金額の推移…30

2. プロジェクト援助の部門別配分…33

3.	開発協力資金とバングラデシュ政府財政…35
4.	国内貯蓄と外国援助…37
第2節	DACの開発ビジョン…39
1.	長期開発戦略と具体的目標…39
2.	DACの対日援助審査内容…41
第3節	DAC目標とバングラデシュへの協力…42
1.	貧困の軽減に関するプロジェクト…43
2.	社会開発に関するプロジェクト…48
3.	環境に関するプロジェクト…51
第4節	日本の開発協力とその課題…52
1.	「ハード」と「ソフト」のバランス…52
2.	「ソフト」を担う人材の育成…53
3.	バングラデシュを人材育成の訓練場に…53
第3章	バングラデシュのNGOの現状—————下沢 嶽…55
	はじめに…55
第1節	NGOの登場…56
第2節	NGO開発戦略の流れ…57
1.	救援から開発へ（1972～74年）…57
2.	ショミティのアプローチ（1975年から80年前半）…58
3.	多様な活動内容の展開（1980年前半～80年後半）…60
4.	無担保小規模ローン時代（1980年後半～現在）…63
第3節	数字でみる現在のNGOの傾向…64
1.	登録数…64
2.	援助全体のなかのNGOの位置…65
3.	活動の傾向…65
4.	支援国・団体の傾向…66
5.	プロジェクトの規模…69

第4節 政府との関係…69

1. 政府の NGO 対応のシステム…69
2. 第3次5カ年計画と第4次5カ年計画にみる政府の
NGO 像…71

第5節 多くの課題…72

第4章 バングラデシュに対する円借款の役割

— 社会構造に視点をおいた円借款の供与に
ついて —

谷本寿男…77

はじめに…77

第1節 円借款の実績とその供与の背景…78

1. 円借款の実績…78
2. 円借款供与の背景…80
3. 円借款供与実績の考察…81
4. 分野別実績の考察…82
5. 今までの供与対象分野の総括…87
6. 最近の円借款の対象分野…87

第2節 円借款の新しい対象分野…89

1. なぜグラミン銀行への融資か…89
2. バングラデシュにおける道路・橋の役割…90
3. 電力セクターのシステム・ロス軽減パイロット・プ
ログラム…91

第3節 今後の円借款の方向…93

1. LLDC 無償論と円借款のニーズ…93
2. 採るべきアプローチ…94

おわりに…95

第II部

援助と社会の相互作用

—バングラデシュにおける援助プロジェクトの現場から—

第5章 バングラデシュの自然と援助

—洪水をめぐる—内田晴夫…103

はじめに：バングラデシュの洪水災害…103

第1節 洪水制御対策と援助…104

1. 洪水制御と水資源開発政策の動き…104
2. 過去のFCD/Iに対する評価…107
3. ブラマプトラ河右岸堤(BRE)の現在…108

第2節 FAPにみる洪水対策援助…110

1. FAPの発足…110
2. FAPにおける「住民参加」の変遷…111
3. 「住民参加」の現実…114
4. FAPの実施状況…117

おわりに…118

第6章 都市部の地域開発と援助

—ダカ市コッランブル地区における雨水排水施設整備プロ

ジェクトをとおして—三宅博之…125

はじめに…125

第1節 ダカの都市拡大と洪水への対策案…127

1. ダカの都市拡大と土地開発…127
2. 洪水による被害…130

第2節 ダカの洪水対策と日本政府の援助…134

1. ダカ都市圏の総合洪水対策

- 過去の報告書より—…134
- 2. 日本政府の援助によるコッランブル地区雨水排水施設整備計画の実施…135
- 第3節 コッランブル地区雨水排水対策事業後の成果と問題点…136
 - 1. ポンプ場の稼働状況…136
 - 2. コッランブル排水路の維持・管理面での問題点…139
- 第4節 コッランブル地区の開発動向と「地域開発」のあり方…144
 - 1. 土地利用状況の変化…144
 - 2. ポンプ場設置と排水路整備をとおしての「地域開発」のとらえ方…149
- むすびにかえて…152

第7章 技術協力における組織制度づくり

—バングラデシュ農業大学院創設プロジェクト

の事例から———隆杉実夫…161

はじめに…161

第1節 バングラデシュの開発と技術協力…162

- 1. 技術協力の意義…162
- 2. わが国技術協力の概要…163

第2節 開発援助における組織制度づくり…163

- 1. 定義…163
- 2. 対象範囲とレベル…164

第3節 バングラデシュ農業大学院計画の概要…165

- 1. IPSA の概要…165
- 2. IPSA プロジェクトの概要…167

第4節 組織制度づくり協力の分析の枠組み…168

- 1. エスマンの組織制度づくりのモデル…168
- 2. 新たに組み込む視点…170

第5節 事例分析…173

1. リーダーシップ問題…173
2. 教官リクルートの遅延…178
3. 新カリキュラム導入の成功…185

第6節 まとめの考察と援助へのインプリケーション…193

1. 組織制度の5要素から…193
2. 組織制度の4リンケージから…194
3. 社会的要因の考慮…195
4. 被援助国側と援助国側とのインターアクションから…195
5. タイムフレームから…197

おわりに…197

第8章 農村開発における在村リーダーシップとインフラ整備事業の可能性

—バングラデシュドッキンチャムリア村の事例—安藤和雄…203

はじめに—農村開発に対する問題意識—…203

第1節 在地のリーダーシップと村意識…205

1. 村の組織と集落道路整備事業…205
2. D村集落道路整備事業…208
3. Sユニオンにおける集落道路整備事業…210
4. リーダーシップと村意識…219
5. D村の人々によって期待されているグラム・マタボールの役割…226
6. BRDB系協同組合の限界…228

第2節 インフラの整備の効果…230

1. 貧しい人々の生活を支えるハット…231
2. マタボールたちの資金調達が実現したハットの拡張…234
3. コンクリートの橋：嘆願から始まるインフラ整備事

業の誘致…235

4. 道路と橋の経済効果試算…238

5. 郵便貯蓄事業…242

あとがき——変化した村の雰囲気——…248

第9章 住民参加型結核プログラムにおける保証金制度の役割 ——バングラデシュ農村における—NGOの事例——尾崎敬子…259

はじめに…259

第1節 BRACの結核治療プログラムの概要…260

第2節 調査の目的と方法…261

1. 調査の目的…261

2. 調査の方法…261

第3節 保証金支払いに関する結果…262

1. BRACで治療を受けた患者への面接…262

2. SHEBIKAへの面接結果…266

3. その他の患者などへの面接結果…267

第4節 保証金の治療に与える影響…269

1. 患者に与える影響…269

2. SHEBIKAに与える影響…271

3. 予測されるマイナスの影響と実際…272

第5節 考察：BRACの成功の要因と構図…274

第Ⅲ部

援助にとってのバングラデシュ

第10章 農村開発におけるマイクロ・クレジットと 小規模インフラ整備——藤田幸一…281

第1節 二つの農村開発政策…281

第2節	マイクロ・クレジット…282
1.	IG プロジェクトの幻想…283
2.	GB 融資の投資先としての土地の質受け…287
3.	GB の貧困緩和メカニズム…289
4.	GB の「成功」要因…291
5.	GB の限界…292
第3節	小規模農村インフラ…293
1.	小規模農村インフラ事業の問題点…294
2.	A村におけるアクション・リサーチ…296
3.	小 括…298
結 語	…299
第11章	援助の実験場としてのバングラデシュ——佐藤 寛…305
	はじめに…305
第1節	なぜバングラデュは援助されるのか…308
第2節	なぜバングラデシュは発展しないのか…311
第3節	援助研究にとってのバングラデシュ (I) ——「伝説」の創生——…316
第4節	援助研究にとってのバングラデシュ (II) ——スポイルの回避——…318
第5節	援助研究にとってのバングラデシュ (III) ——ジェラシーの回避——…321
第6節	援助研究と地域研究…325
第7節	モデルプロジェクトと情報の共有…327
補章	バングラデシュにおける青年海外協力隊の 限界と可能性——下村奈保子…331
	はじめに…331

1. JOCV の派遣実績…332
 2. 隊員がかかえる問題…333
 3. 隊員活動とベンガル社会…336
 4. 政府機関のシステムの特性…340
 5. 手工芸プロジェクトの活動実例…341
 6. 協力隊の特性——NGO と ODA の間で——…345
- おわりに…348